

実施計画(案)参考資料  
市川市塩浜2丁目護岸改修事業について

資料3-5

参考資料目次

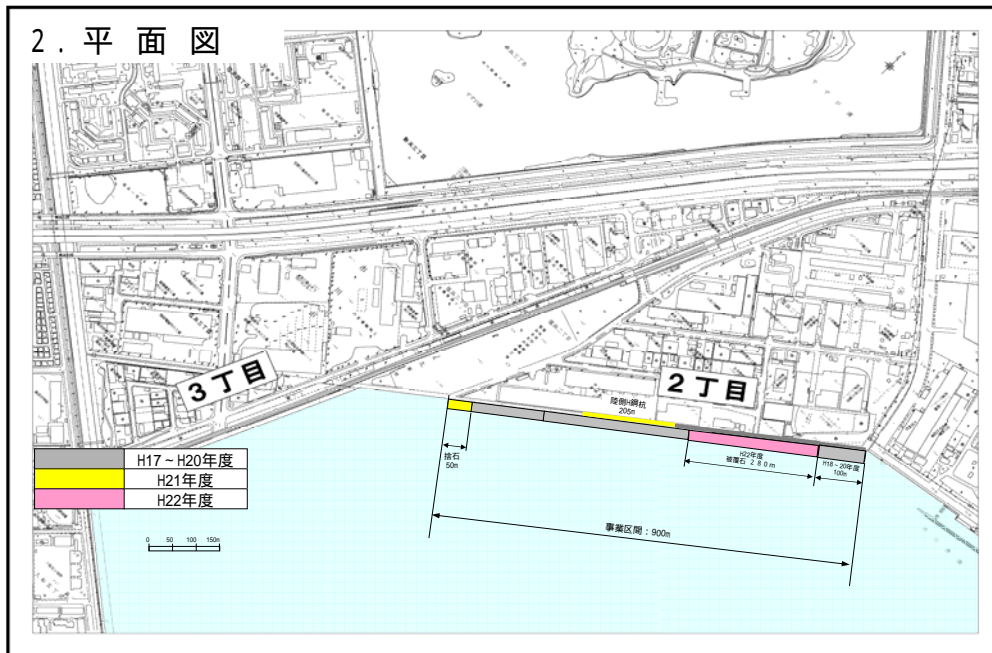
1. 位置図	1
2. 平面図	2
3. 工事の計画	
(1) 護岸配置計画図	3
(2) 護岸バリエーション位置図、平面図	4
(3) 断面図	5
4. 平成22年度モニタリング調査計画	
(1) 平成22年度モニタリング調査項目	6
(2) 平成22年度モニタリング調査位置	7
5. 平成22年度実施工程表	8
6. 塩浜2丁目の護岸改修の流れ	9

1. 位置図



資料3-5

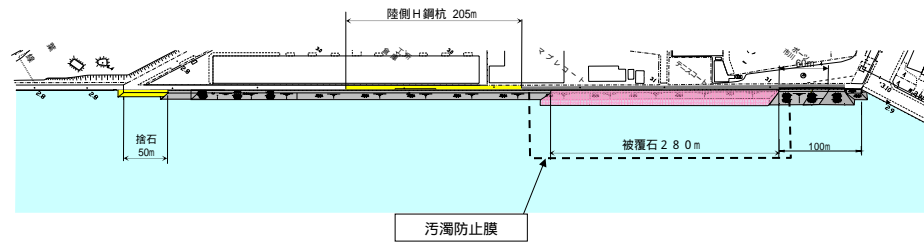
2. 平面図



### 3. 工事の計画

#### (1) 護岸配置計画図

・被覆石の工事を280m行う。

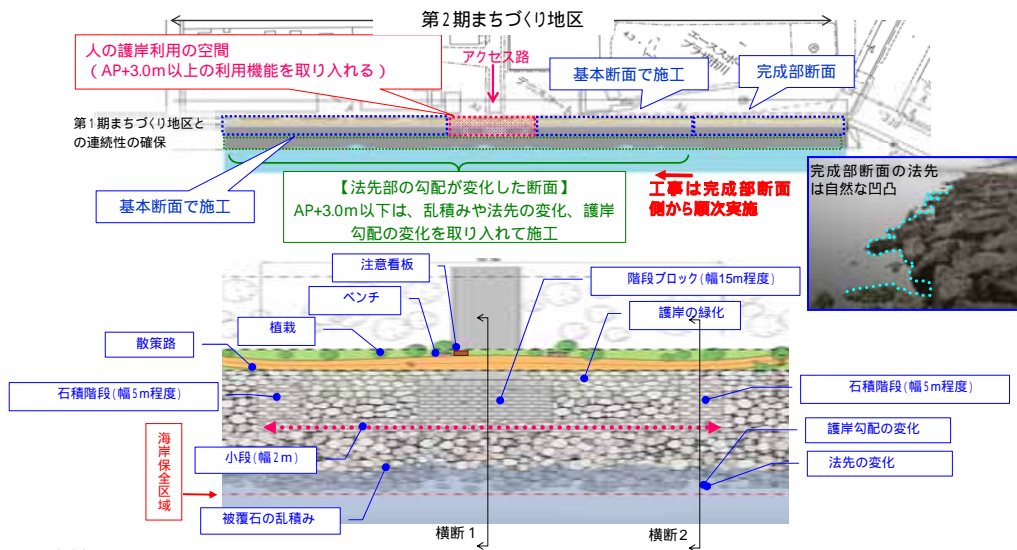


	H17～H20年度
	H21年度
	H22年度

資料3-5

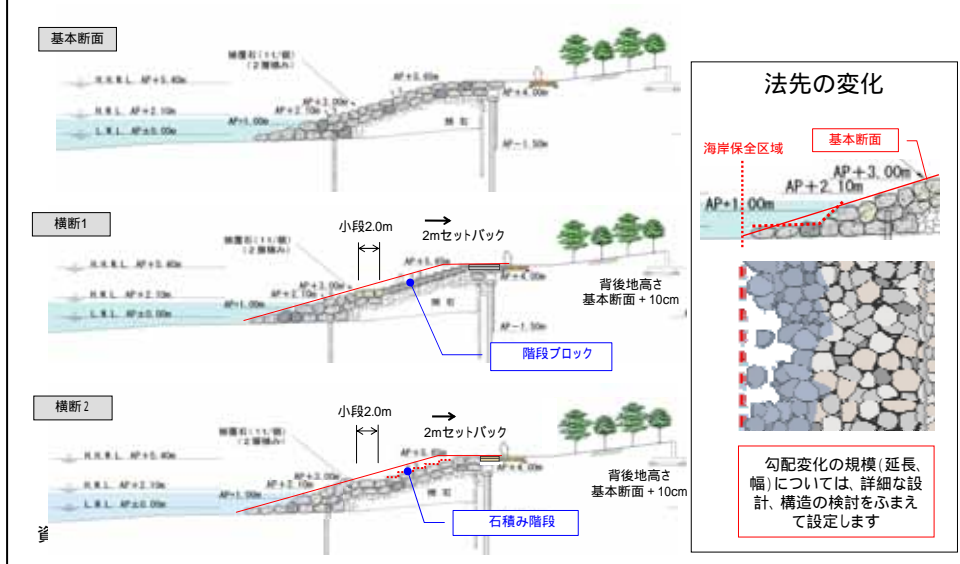
### 3. 工事の計画

#### (2) 護岸バリエーション位置図、平面図



資料3-5

### 3. 工事の計画 (3)断面図



5

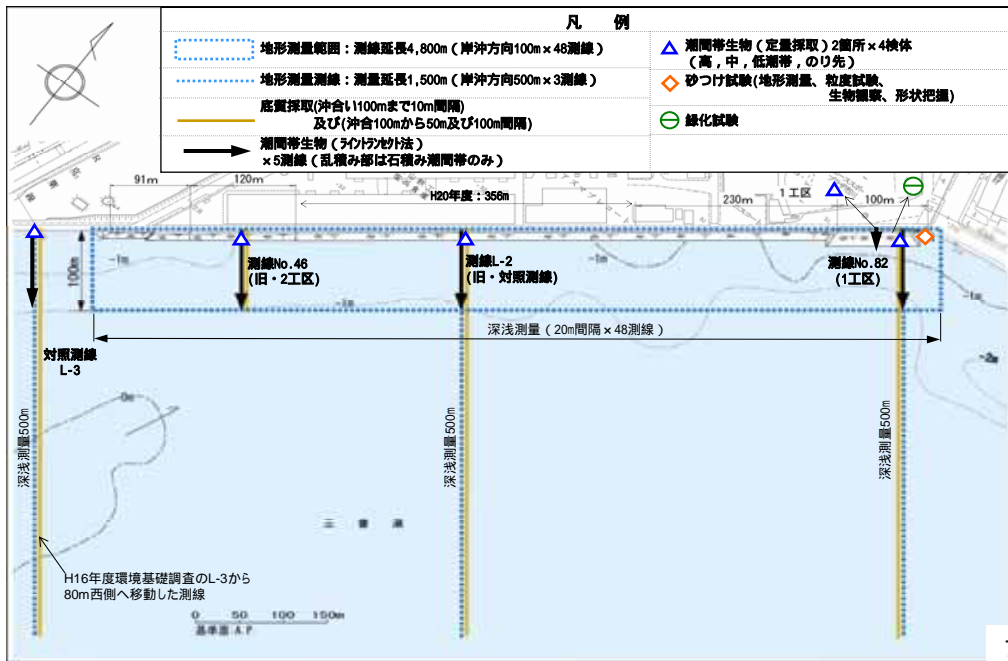
### 4. 平成22年度モニタリング調査計画 (1) 平成22年度モニタリング調査項目

赤字文字部分はH21年度からの変更点

区分	項目	目的	方法	時期(間隔)	数量等
検証項目	地形	・護岸部の張り出しによる周辺への物理的影響の把握 ・洗掘等による周辺地形の変化の把握等	地形測量	春季：4月 秋季：9月の年2回 +イベント(台風等の高波後)	・護岸改修範囲の岸沖方向100m × (48測線) = 測線延長4,800m ・測線No. 82(1工区)、L-2、対照測線L-3の岸沖方向500m × (3測線) = 測線延長1,500m
	底質	粒径の変化の把握	採泥・ 粒度試験	春季：4月 秋季：9月の年2回	・測線No. 82(1工区)、No. 46(2工区)の岸沖方向100mを10m間隔で採泥(11検体)、L-2、対照測線L-3の岸沖方向100mを10m間隔で採泥(10検体)：合計42検体 ・測線No. 82、L-2、対照測線L-3の岸沖方向500mの3測線では、沖合150m、200m、300m、400m、500mの5地点で採泥：合計15検体
	生物	潮間帯生物の定着状況調査は公開とし、ライトトランセクト法による観察は市民との協働で行うものとする。	ライトトランセクト法による観察  採取分析	春季：4月 夏季：8月下旬～9月の年2回 冬季：1月 潮間帯の写真撮影のみ(ただし、青潮や出水などにより護岸前面の生物群集に大きな影響があった場合には、冬季調査を実施する。)	・測線No. 82、H19年度乱積施工箇所、L-2、No. 46、L-3の5測線 ・石積護岸(斜面上)：方形枠(50cm × 50cm)による連続目視観察 ・高潮帯から護岸のり先まで1m間隔 ・旧護岸法線より30～100mは10m間隔 ・石積護岸の東側端部の1地点においても観察 ・H19年度乱積施工箇所は潮間帯のみ観察 ・測線No. 82、H19年度乱積施工箇所、L-2、No. 46、L-3の5箇所における採取分析 ・1箇所当り高、中、低潮帯、のり先の4検体
	緑化試験	護岸構造を利用した基盤の形成方法を見出す。 石積護岸の立地環境に合う植物を確認する。 立地環境に合った緑化手法を見出す。	発芽及び移植試験ヤードにおける種まき、植え込み後の観察	平成22年4月 ～平成23年9月	・発芽ヤードでは、発芽状況と種類、活着状況、他の植物の侵入状況、基盤の保持状況、天候を観察 ・移植ヤードでは、活着状況、他の植物の侵入状況、基盤の保持状況、天候を観察 ・観察頻度は2ヶ月に1回程度
	砂つけ試験	砂を投入した場合の砂の挙動を把握する。 置き砂に現れる生物相を確認する。	地形測量  採泥・ 粒度試験  生物観察  形状把握	年2回+イベント(台風等の高波後) 秋季：9月 春季：4月の年2回 夏季：8月下旬～9月 春季：4月の年2回  年2回+イベント(台風等の高波後)	・置き砂投入範囲の中で1測線 ・後浜部、汀線部、のり先付近を基本として、勾配が変化することに1箇所。 ・方形枠(50cm × 50cm)による目視観察 ・潮間帯で1測線(高・中・低潮帯)で観察、低潮帯においては測線の両端も観察 ・測線上の低潮帯の1箇所にて採取分析 ・定点撮影
	水鳥	水鳥の場の利用への影響の有無を把握する。	専門家へのヒアリング	年1回	・専門家へのヒアリング1回
材料検証	波浪・ 流況	2丁目護岸周辺の海底地形、底質に大きな変化が見られた場合は、東京湾内にある波浪観測点から外力を推定する。  青潮時の溶存酸素量測定。生物環境への外力把握を目的とする。	DO計による測定	青潮発生時	・1工区の完成断面石積のり先 ・護岸改修範囲の西側で1点

6

(2)平成22年度 モニタリング調査位置



7

5. 平成22年度 実施工程表

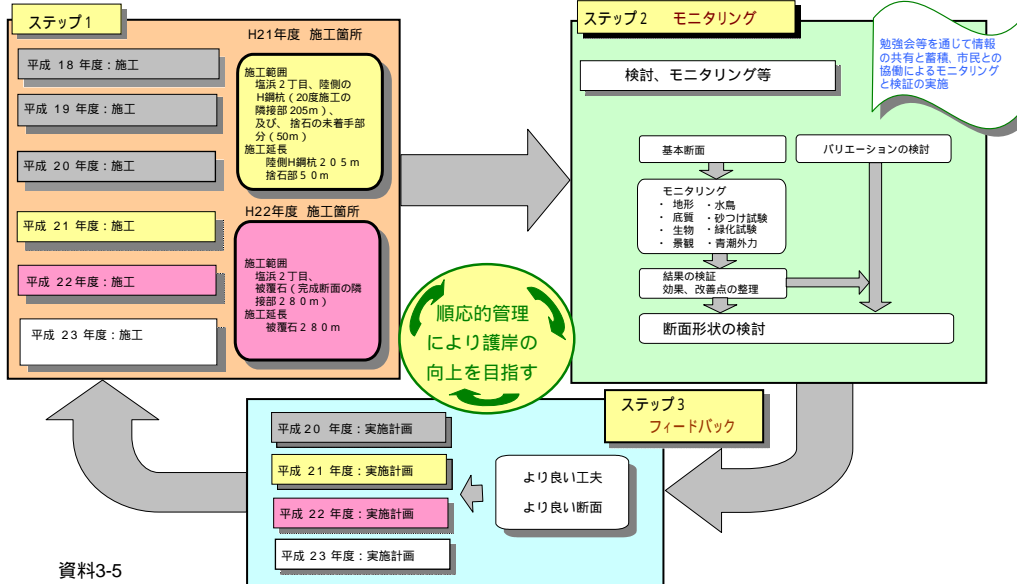
区分	年月	H21年度		H22年度												H23	備考		
		2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			4月	
準備工		■																	
海域工事	捨石工																		
	H鋼杭工																		
	被覆石工			■														H22年度 被覆石工L=280m	
陸域工事	鋼矢板工																		
	H鋼杭工																		
	被覆石工								■								H22年度 被覆石工L=280m		
	笠石C その他																		
		← 海域施工期間 (4月~8月) →						← のり巻埋期間 (9月~3月) →											
モニタリング調査	地形																		別途イベント時対応
	底質																		別途イベント時対応
	生物																		別途イベント時対応
	その他			■															青潮観測 緑化試験 砂つけ試験

資料3-5

8

## 6. 塩浜2丁目の護岸改修の流れ

= 順応的管理を踏まえた改修の流れ =



資料3-5